学校番号	１１５

平成３１年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年	２年
類型等	共通						
使用教科書	「改訂版　現代文Ｂ」（数研出版）						
副教材等	プレミアムカラー国語便覧（数研出版） 読み・解き・覚える日本文学史必携（第一学習社） 熟語を音訓から学ぶ新版品詞別頻出漢字マスター３０００（尚文出版） 読解を深める　現代文単語　評論・小説　改訂版（桐原書店） ＬＴ現代文２（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年生では、１年生時で身につけたことを更に発展させた内容の授業を行います。具体的には、文章読解、表現、国語常識の習得等を通して、皆さんの読む力、聞く力、書く力、話す力、考える力を高めていきます。
・小説、評論等様々な文章を学習することで、短時間で文章を読み解くことができるようにしよう。また、学習した内容についての感想や意見などを持ち、それを文章に表したり口頭発表したりする力を身につけてください。
・漢字や語彙、文学史、修辞法等の知識を得ることで、今後の学習に活かすだけでなく、社会人としての常識を身につけてください。
・予習として出された課題は必ず取り組み授業に臨んでください。また授業書内容をノートにとることで、まとめる力もつけてください。
・定期考査だけでなく、普段の小テストや課題にも力をいれて学習してください。

2　学習の到達目標

・文章の内容や構成、主題、心情などを的確に理解し、自らの考えをもつことができる。
・自らの意見や主張を適切に文章に著したり、口頭で確実に相手に伝えたりすることができる。
・国語常識を身につけ、伝統や文化に関心をもち、国語を尊重する姿勢を育む。
・様々な文章や題材に触れることで、豊かな心をもち、多彩な考え方をもつことができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	評論文、小説を中心とした文章を読むことによって、様々な内容についての関心を深め、他のジャンルの文章を読む意欲が高まるようになる。	口頭において自らの考え、主張を的確に表現できるようになる。また他の人の口頭発表に対して質問をしたり意見を述べたりすることができるようになる。	自らの考えを文章で的確に表現できるようになる。また複雑な内容の文章から重要な部分がどれなのかを判断して、まとめることができる。	文章を的確かつ迅速に読み取り、要旨をつかむ力を身につけることができるようになる。さらに自分の考えを形成して、発展させている。	漢字や語句、敬語、文学史等の国語の知識を身につけて、運用できるようになる。また文章の展開や内容だけでなく、文面に表れていない意味をも把握できるようになる。
評価方法	行動の観察 記述の点検（ノート、プリント等）	行動の観察 （授業中における発表等の活動の評価） 記述の点検（ワークシートや聞き取りノートなど）	行動の観察 （授業中における記述活動や提出物の評価） 記述の点検（ノート・プリントなど）	記述の確認及び分析 （プリント、問題集等） 定期考査 小テスト	行動の観察 記述の確認 （ノート、プリント、問題集等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	小説一	「山月記」	○			○	◎	a:作者の特徴や他の作品に関心を持つようになる。 d:主要な登場人物の生き方や考え方について、自らの考えを巡らすことができるようになる。また作品の主題をつかむだけでなく、作品の題名が象徴しているものを推し量ることができるようになる。 e：漢語や漢文の知識を身につけている。	a、d：行動の確認と観察 e：小テスト及び定期考査
	評論一・二	「対話の精神」 「ミロのヴィーナス」 「豊かさとつながり」 「家族化するペット」	○		◎			a:評論の内容に興味を持ち、その背景について調べるようになる。 c：本文の主題についての自らの意見を文章で表現できるようになる。 d：本文の要旨をつかみ、要約できるようになる。	a：行動の確認と観察 c：記述の点検と確認及び小テスト、定期考査 d：提出物及び定期考査
2学期	評論三・四	「食べ物を「はかる」」 「科学の現在を問う」 「「考える葦」であり続ける」 「生命情報・社会情報・機械情報」	○		○	◎		a：文章の内容に関連する事象に興味を持ち、関連事項について調べるようになる。 c：重要な文章を抜き出して、文章全体をまとめることができるようになる。 d：文章中の言葉の意味を把握し、内容を理解した上で、論者の言外の意見をくみとることができるようになる。	a:行動の観察と確認 c：記述の点検と確認 d:提出物及び定期考査
	小説三	「こころ」	○	◎			○	a:作者の生涯や思想、他の作品に対する関心を持つようになる。 b：登場人物の行動や思想に対して自らの考えを表現したり、他の人の考えに関して意見を発したりすることができる。 e：文中に表れていない登場人物の真意や行動の理由を理解することができるようになる。	a、b:行動の観察と確認 e：提出物及び定期考査
	詩	「竹」 「蝉頃」 「樹下の二人」 「永訣の朝」 「Ｉ　was born」	○		○		○	a：詩歌に興味を持ち味わうことができる。 c：感じたこと考えたことを文章にまとめることができる。 e：詩的言語のはたらきを理解し、言語感覚を磨くことができている。	a:行動の観察と確認 c：提出物 e：提出物及び定期考査
3学期	小説二	「山椒魚」 「巨人の接待」	○	○			○	a:作者の生涯や思想、他の作品に対する関心を持つようになる。 b：登場人物の行動や思想に対して自らの考えを表現したり、他の人の考えに関して意見を発したりすることができる。 e：文中に表れていない登場人物の真意や行動の理由を理解することができるようになる。	a：行動の観察と確認 d：小テスト及び定期考査

	評論五・六	「敬語への自覚、他者への自覚」 「分かち合う社会」 「コミュニティーから見た日本」 「世界は、いま―「多文化世界」の構築」	○			◎		a：評論の内容に興味関心を持つようになる。 d：多くの具体例の中から、重要なものを選び取る判断力を身につけるようになる。また論理的な展開を把握して要旨をつかむようになる。加えて、筆者が文章を通じて訴えていることを類推できるようになる。	a ：行動の観察と確認 d：提出物及び定期考査
	近代の文章	「漫罵」 「たけくらべ」	○			○	○	a：近代の文章に興味関心を持つようになる。 d：近代に書かれた文章の文体を比較し、特徴を読み取っている。 e：近代の文体の変遷について大まかな流れを理解している。	a ：行動の観察と確認 d：提出物及び定期考査 e：提出物及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d：読む能力　e：知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。